



森林環境税シボルマーク

平成31年度

森林環境税を活用した

森林のふれあい体験活動を募集します！

もり
[森林の体験活動支援事業 募集要項]

植樹体験



カーボンオフセット学習



特産林産物学習



森林環境教育

水源かん養をはじめとする森林の多面的機能を持続的に発揮していくことの重要性から、鹿児島県では「森林環境の保全」と「森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成」の2つの目的の達成に向け、間伐などの森林整備や多様な主体による森林づくりを進めるとともに、県産材の利用拡大や森林環境教育などを推進しています。

その一環として、県民の森林・林業に対する理解と森林づくりへの積極的な参加を図るため、県民の皆さんが自ら企画し実施する森林・林業の学習、森林の整備保全活動、林業の体験活動等を広く募集し、これらの活動を支援します。

自治会、NPO法人、森林ボランティア団体など多くの応募をお待ちしています。

鹿児島県

平成31年度「森林環境税」公募事業

[森林の体験活動支援事業 募集要項]

「森林環境税公募事業（森林の体験活動支援事業）」に応募申請するものは、この要項に基づき、応募するものとする。

なお、補助金等に係る細部事項は、知事が別に定める。

1 募集対象事業

募集の対象となる事業は、次の(1)(2)の活動を併せて実施するものとする。

(1) 森林・林業の学習活動

- ① 間伐や下刈り等の森林整備についての学習活動
- ② 水源かん養や山地災害防止機能等森林の公益的機能についての学習活動
- ③ 間伐材等の木材利用についての学習活動
- ④ 地球温暖化防止に貢献する森林等についての学習活動
- ⑤ カーボンオフセットの取り組みに関する学習活動
- ⑥ その他、上記に準ずる森林・林業に関する学習活動

(2) 森林・林業に関する体験・実践活動

- ① 森林の整備活動（植栽，下刈り，間伐等の作業）
- ② 木工，椎茸栽培等の体験活動
- ③ 森林・林業の振興を目的とするイベント
- ④ その他，上記に準ずる森林・林業に関する体験・実践活動

2 適用除外事業

「1」の要件を満たす場合でも次に該当する事業は、応募できないものとする。

- ① 当該事業で実施する学習・体験活動について、既に他の機関から補助・助成等を受けている、又は受ける見込みであるもの
- ② 特定の事業者の利益のために行われるもの
- ③ 政治的又は宗教的宣伝を目的としていると認められるもの
- ④ その他「森林環境税公募事業」としてふさわしくないと認められるもの

3 事業期間

2020年3月10日頃までに完了できるものであること。

4 申請者の応募要件

森林・林業に関する学習・体験活動を実施する法人・団体で、次の要件をすべて具備しているものとする。

- ① 自ら企画した事業を県内で実践できること
- ② 自主的、組織的な活動で事業を完遂できること
- ③ 助成金の使途に係る条件遵守が確実であること
- ④ 営利を目的としないこと
- ⑤ 「鹿児島県暴力団排除活動の推進に関する条例」で規定する「暴力団」等でないこと

なお、学校については、PTA等の団体の実施によるものであること

5 補助対象経費

補助対象となる経費は下表のとおりとする。

費目	「内容」及び「助成限度額」等
賃金	賃金（植樹準備，会場設営，作業介添え等） ※1人に対する1日当たりの助成額は6,000円以内で必要最小限の人数とする。 ただし，会員が行う活動については，上記金額の2分の1とする。
報償費	講師謝金 ※1人に対する1日当たりの助成額は以下のとおりで必要最小限の人数とする。 ・内部講師（会員又は会員と同等の者）：5,000円以内 ・外部講師（上記「内部講師」以外の者）：10,000円以内
旅費	講師旅費 ※講師1人に対する1回（往復）当たりの助成額は，特別な場合を除き4,000円以内
需用費	消耗品費，燃料費，印刷製本費等 ※必要最小限の数量，金額
役務費	通信運搬費，広告費，保険料，カーボンオフセットに要する経費等 ※必要最小限の数量，金額
使用料及び賃借料	会場使用料，車輛借上料，作業機械等借上料等 ※必要最小限の数量，金額

注：次の経費については，補助の対象とならない。

- ① ホテル・旅館等の宿泊費
- ② 食糧費（教材として使用するものを除く）
- ③ 参加者の居住地から集合・解散場所までの旅費
- ④ 法定耐用年数が4年以上の資材，事務用品
- ⑤ ホームページ新規作成費
- ⑥ 交付決定通知日より前の活動に係る経費

（項目別上限額）

当事業は，県民が自ら企画・実施する事業であり，申請団体の自由な発想を妨げないため，補助対象経費について費目ごとの単価を定めていないが，助成対象経費やその単価に関する団体間の公平を図るため，以下の主な対象については，補助対象上限額を下記のとおりとする。

項目・内容	上限額	
資機材	ナタ・カマ・クワ	3,000円/個
	チェンソー・刈払機等借上料	3,000円/日
	椎茸原木	470円/本
	椎茸種菌	4円/個
	椎茸ドリル 借り上げ	4,000円/台
	購入	13,000円/台
	ドリル替刃 9mm	1,000円/個
	ドリル替刃 12/5mm	2,200円/個
	遮光ネット 2m×50m(1巻)	7,000円/巻
上記以外の資機材	2,000円/個	
車両借上料	バックホウ	50,000円/日
	トラック(4t以上)	30,000円/日
	トラック(2t)	10,000円/日
	軽トラック	5,000円/日
	バス	50,000円/日
保険料	動力使用	400円/人
	その他	100円/人
広告費	フリーペーパー掲載費	50,000円/回
	ホームページ更新費	10,000円/回
	※当該事業に係る更新に限る	

※ 団体等が，自己資金等で加算した上で，上記を超えて支出することを制限するものではない。

6 補助率

補助対象経費の50万円までの部分については、10/10以内
補助対象経費の50万円を超える部分については、1/2以内

7 補助限度額

1事業の補助限度額は100万円とする。
ただし、企業等と連携して取り組み、500人以上の参加者が見込まれる活動については、1事業の補助限度額を200万円とする。

8 応募方法

「森林環境税公募事業応募申請書」（様式1）によるものとする。
なお、追加資料を求められた場合は、それに応じるものとする。

9 公募期間

2019年4月1日(月)から2019年5月8日(水)まで

10 応募先

主な活動が行われる市町村の林務担当課へ提出する。

11 採択の決定及び通知

応募申請書等を選定委員会で審査のうえ決定し、すべての応募申請者に通知する。
なお、県は助成金の適正な交付を行うために必要があると認めた場合は、当該応募申請内容に修正を加え、又は条件を付すことができるものとする。

12 ^{もり}森林の体験活動支援事業の選定等について

(1) 選定の方法について

当事業は、事業選定委員会を設置し、実施基準を満たした各申請団体毎に、次の項目について評価し、補助対象事業を選定する。

- ① 学習活動の内容は優れているか。
- ② 実践活動の内容は優れているか。
- ③ 事業経費が参加人数及び内容等から判断して適切であるか。
- ④ 活動内容に継続性・将来性が期待できるか。
- ⑤ 新たな参加者を呼び込む企画を提案している場合、その内容は優れているか。
- ⑥ 総合的に判断して、県民への波及効果が高いか。
- ⑦ 新規の団体、または、PTA、育成会、緑の少年団からの申請で、森林・林業環境学習の充実が図られる活動であるか。

13 その他

(1) 専門家等との連携・協力

学習活動及び体験活動の充実を図るため、実施にあたっては、各地域のグリーンマスター、樹木医、森林インストラクター等の専門家を積極的に活用すること。
(連絡先等については、各地域振興局・支庁へ問い合わせること。)

(2) 「森林のふれあい体験活動」年間プログラムの提供

当事業で選定された各団体の実施内容等を地球温暖化対策課でとりまとめ、「森林のふれあい体験活動」年間プログラムとして、県のホームページ等で、随時、情報発信を行うこととしている。

(3) 参考資料の徴収について

積算単価の根拠となるカタログや見積書の写し等を参考資料として求める場合がある。

様式1 (※必要に応じ増頁することとし、別添資料がある場合は添付すること。)

森林環境税公募事業 (森林^{もり}の体験活動支援事業) 応募申請書

鹿児島県知事 殿

平成 年 月 日

申請人
所在地
団体等名
代表者名

印

下記の活動を実施したいので、「森林環境税公募事業 (森林の体験活動支援事業)」に応募します。

記

- 1 事業名
- 2 事業目的
- 3 事業内容

区 分	学習活動	体験・実践活動
内 容		
対 象 者		
活動場所		
実施面積		

※ 別紙にて位置図、現地の状況 (写真) を添付

- 4 参加者の募集方法 (該当する方法の番号に○印を記載する。)
(1) 募集チラシ (配布数: 部, 配布先:)
(2) SNS (ホームページ・フェイスブック・その他:)
(3) 新聞や情報誌への掲載 (掲載予定誌:)
(4) その他 ()
- 5 企業と連携した活動について
● 企業との連携の有無: あり・なし
(1) 連携企業名:
(2) 連携内容:
- 6 森林・林業と関わりのない新たな参加者やこれまで募集対象としていなかった団体等呼び込む企画について
- 7 事業実施スケジュール

年 月 日	事 業 計 画 内 容	参加者数
合 計	・ 学 習 : 回 ・ 体験・実践 : 回	

- 8 経費内訳書 (様式2)
- 9 団体等の概要 (様式3)

様式2 (※必要に応じ増頁することとし、別添資料がある場合は添付すること。)

経 費 内 訳 書

< 収入の部 >

区 分	金 額	内 訳
県補助金		
自己資金		
その他 (参加者負担金等)		
計		

※ 県補助金が、50万円を超える部分については、その額の同額以上の自己資金又はその他(参加者負担金等)が必要です。

< 支出の部 >

項 目	費 目	内 容	数 量	単 価	金 額
学習活動					
小 計 ①					
体験・実践 活 動					
小 計 ②					
合 計 ①+②					

※ 各項目は、支出する費目(賃金、報償費、旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料)ごとに記載する。

内容は、具体の作業、資材等の内訳、積算内訳等を記載する。

様式 3

団 体 等 の 概 要

団 体 等 名	
代表者 役名・氏名	
所 在 地	〒
計 画 作 成 者 住 所 氏 名 連 絡 先	〒 住 所 氏 名 連 絡 先 (固定電話) (携帯電話) e-mail
設 立 年 月 日	
団体の構成員数	
設 立 目 的	
活 動 実 績	
本事業の実施回数 (実施年度)	
今回工夫や改善 を行った点	
他団体等との連携	
今 後 の 展 開	継続した取組
	新たな取組
添 付 書 類	

森林環境税公募事業（森林^{もり}の体験活動支援事業）応募申請書

平成30年〇月〇日

鹿児島県知事 殿

代表者の役職名まで記載
すること。

申請人

所在地
団体等名
代表者名

鹿児島市鴨池新町〇番×号
さつまの里山を守る会
会長 薩摩 隆盛 印

下記の活動を実施したいので、「森林環境税公募事業（森林の体験活動支援事業）」に応募します。

1 事業名 里山再生と森林の魅力発信事業

2 事業目的

かつて、里山は人の暮らしと密接な関わりがあり、利用されることにより維持・管理されてきましたが、生活様式の変化や山村地域の過疎化、高齢化等により、適切な管理が困難となっている地域が見られる。

一方で、里山は、都市住民が豊かな自然に触れたり、子ども達が自然を体験する場としての役割が期待されている。

そこで、里山を整備し、森林を守り育てる世代の子どもとその保護者を対象に、森林の働きについて学ぶ場として活用し、持続的な森林づくりへの参加を促進する。

3 事業内容

(1) 学習活動、(2) 体験活動の両方取り組む必要がある。

- 学習及び体験・実践活動については、相互に連携して、併せて実施することとし、それぞれの活動内容がわかるよう区分して、具体的に記載すること。
- 施設整備を行う場合は、施設を活用した学習・体験活動の計画を記載すること。

区分	学習活動	体験・実践活動
内容	① 森林の多様性や自然の仕組み 森林インストラクターを講師に招き、紙芝居形式で楽しく学ぶ。 ② 森林の役割 森林の公益的機能を学ぶ。 ③ 森林資源の循環利用 木の良さや利用する意義を学ぶ。	① 里山散策、森の生き物観察 鹿児島市〇〇地区の里山林を散策し、そこに生きる生き物を知る。 ② 植栽活動・遊歩道整備 イロハモミジ、ヤマザクラ（計 600 本）を植栽し、遊歩道整備を行う。 ③ 間伐材を利用した木工教室 鉢置き台の製作を行う。
対象者	〇〇地区子供会、スポーツ少年団、〇〇緑の少年団、保護者、協賛企業、〇〇地区住民、一般	
活動場所	①③鹿児島市〇〇地区公民館 ②鹿児島市〇〇地区の里山林（鹿児島市〇〇町）	鹿児島市〇〇地区の里山林（鹿児島市〇〇町） 整備した施設を活用した活動であることが分かるように記載すること。
実施面積	別紙に、市町村広域図等に活動場所、現地の状況写真を記載すること。	森林整備：2ha（植栽 0.5ha, 間伐 1.5ha） 遊歩道整備：100m

※ 別紙にて位置図、現地の状況（写真）を添付

4 参加者の募集方法（該当する方法の番号に○印を記載する。）

- (1) 募集チラシ（配布数：1,000部 配布先：近隣の幼稚園、小学校）
- (2) SNS（ホームページ フェイスブック、その他： ）
- (3) 新聞や情報誌への掲載（掲載予定：地域コミュニティ情報誌など）
- (4) その他（市広報誌など）

5 企業と連携した活動について

企業と連携して取り組み、500人以上の参加者が見込まれる活動については、補助限度額が200万円になる。
また、企業と連携した活動の場合は、企業名、活動に対する企業の関わり方を具体的に記述すること。

●企業との連携の有無：あり・なし

- (1) 連携企業名：〇〇建設会社、〇〇レクリエーション企画会社
- (2) 連携内容：植栽予定地の整備（除伐、地拵え、遊歩道の整備）
学習・体験学習のプログラム作成
社員の植栽活動への参加

6 森林・林業と関わりのない新たな参加者やこれまで募集対象としていなかった団体等呼び込む企画について

※初めて申請する団体についても記載すること。

日頃、森林・林業と関わりの無い方や団体、これまで募集対象としていなかった方等をどのように呼び込むか具体的に記述すること。

活動フィールド近隣の幼稚園や小学校及びスポーツ少年団などへ参加を呼びかけるとともに、植栽活動においては、近隣の公民館等の地域コミュニティ団体へ参加を呼びかけ、地域の山を地域主体で整備していくという意識の醸成につなげる。

（別紙）活動場所及び現地の状況の写真

【※注意 参考標記です】



学習①、②、③及び体験③ 県民交流センター

体験活動①、② 城山

写真

（現地の状況写真）

写真

（これまでの活動状況）

等々

事業計画の内容が分かるよう、簡潔に記載すること。

7 事業実施スケジュール

年月日	事業計画内容	参加者数
平成30年 7月	活動プログラムの調整 フェイスブックへの掲載 チラシの作成・配布	対象者別に参加者数を記載すること。
7月	活動下準備（除伐，下刈り，遊歩道の整備）	外部作業員3人 スタッフ5人
8月	学習（森林の多様性や自然の仕組み） 体験（里山散策・生き物観察）	100人 （園児・小学生50人，保護者・一般50人）
9月	活動下準備（植栽予定地の整地）	外部作業員3人 スタッフ5人
10月	学習（森林の役割） 体験（植栽活動）	250人 （小・中学生100人，保護者50人，企業・一般100人）
11月	活動下準備（間伐，除伐）	外部作業員3人 スタッフ5人
12月	学習（森林資源の循環活用） 体験（間伐材を利用した木工教室）	100人 （小学生50人，保護者・一般50人）
合計	・ 学 習 : 3回 ・ 体験・実践 : 3回	450人

8 経費内訳書（様式2）

9 団体等の概要（様式3）

様式2 (※必要に応じ増頁することとし、別添資料がある場合は添付すること。)

経 費 内 訳 書

<収入の部>

区 分	金 額	
県補助金	550,000	
自己資金	50,000	50,000円 ○○建設会社協賛金
その他 (参加者負担金)	100,000	400円×250人(昼食代)
計	700,000	

当事業により申請する補助金額を記載すること。

●補助対象経費の50万円までの部分については10/10,
50万円を超える部分については、1/2以内

●企業と連携した取組、かつ500人以上の参加者が見込まれる活動に
ついては、上限200万円

●(例)500千円+((600千円-500千円)÷2)=550,000円

他の機関等からの協賛金、助成金等の予定がある場合は、その内訳を
記載すること。

参加費等を徴収する予定がある場合は、その内訳を記載すること。

※ 県補助金が50万円を超える部分については、その額の同額以上の自己資金又はその他(参加者負担金等)が必要です。

支出の内容や数量の計上は、できる限り具体的に記載すること。

募集要項で上限額が定められている項目については、上限額を参考に記載すること。

<支出の部>

項 目	費 目	内 容	数 量	単 価	金 額	
学習活動	賃金	スタッフ賃金(○人×○日)	○○人	○,○○○	○,○○○	
	報償費	外部講師謝金(○人×○日)	○○人	○,○○○	○,○○○	
	旅費	外部講師旅費(○人×○日)	○○人	○,○○○	○,○○○	
	需用費	消耗品費 ・教材費	○○セット	○,○○○	○,○○○	
	役務費	印刷製本費 ・資料	1式	○,○○○	○,○○○	
小 計 ①					200,000	
体験・実践活動	賃金	【会場下準備】 外部作業員賃金(○人×○日)	○○人	○,○○○	○,○○○	
		スタッフ賃金(○人×○日)	○○人	○,○○○	○,○○○	
	報償費	木工製作外部講師(○人×○日)	○○人	○,○○○	○,○○○	
	需用費	【植栽活動】				
		イロハモミジ苗木	○○本	○○○	○,○○○	
		ヤマザクラ苗木	○○本	○○○	○,○○○	

賃金及び講師謝金は、
会員か外部か分かるよう
に記載すること。

体験・実践活動	需用費	固形肥料	〇〇 個	〇〇	〇,〇〇〇
		竹支柱	〇〇 本	〇〇〇	〇,〇〇〇
		【木工教室】			
		木工工作キット	〇〇 セット	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		【遊歩道整備】			
		階段用丸太	〇〇 本	〇〇〇	〇,〇〇〇
		燃料費（ガソリン）	1 式	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
	賃借料	チェーンソー	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		刈り払い機	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		トラック（2 t）	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		軽トラック	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
		バス	〇〇 台	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
	保険料	動力使用	〇〇 人	〇〇〇	〇,〇〇〇
その他		〇〇 人	〇〇〇	〇,〇〇〇	
小 計 ②					300,000
参加者募集 ・広報等	役務費	【印刷製本費】			
		・チラシ（〇〇校区, 〇〇戸）	〇〇 枚	〇〇	〇,〇〇〇
		【通信運搬費】			
		・情報誌掲載料	1 式	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
小 計 ③					100,000
補助対象経費 ①+②+③					600,000
補助対象外経費	食糧費	植栽活動に伴う 昼食代	250 人	400	100,000
補助対象外経費 ④					100,000
合 計 ①+②+③+④					700,000

単価の根拠となるカタログ等
があれば添付すること。

チラシの配布先及び概ねの
配布数を記載すること。

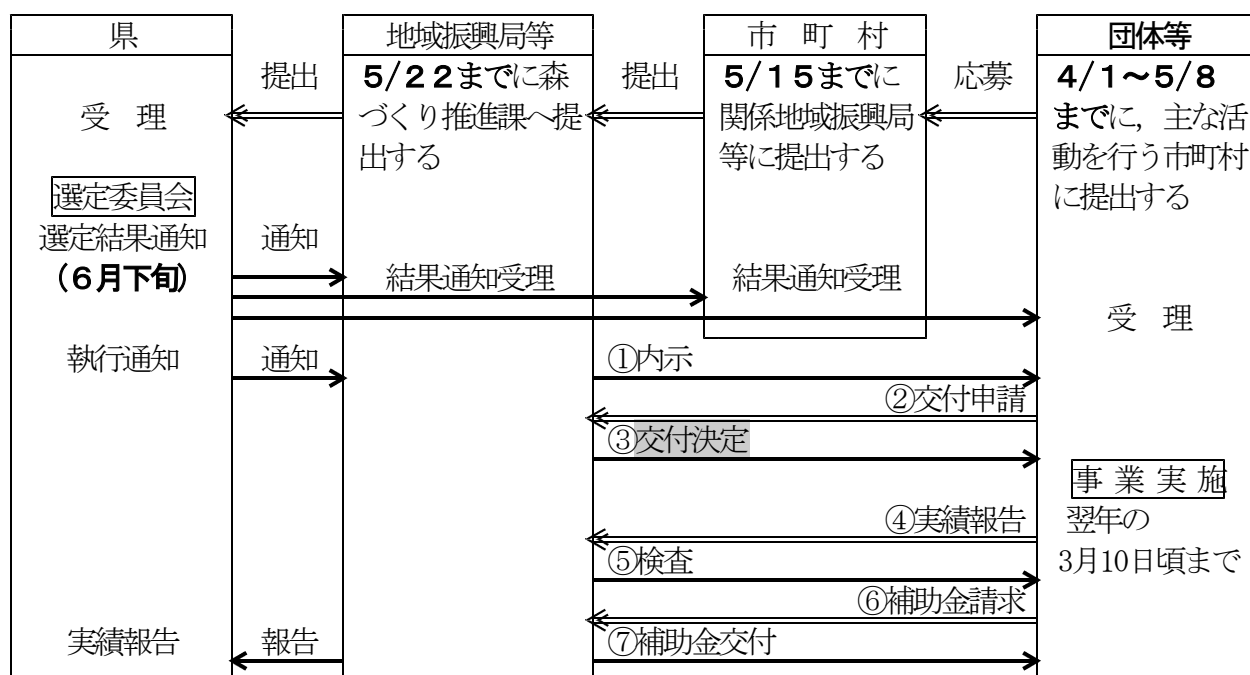
食糧費は補助対象にならないが、活動上必要と認められる食材費は需用費として補助対象となる。
「体験・実践活動」欄に必要性が分かるように記載すること。
(例: 森林で集めた食材を調理するために必要な油や調味料等)

様式 3

団体等の概要

団体等名	さつまの里山を守る会	
代表者 役名・氏名	会長 薩摩 隆盛	
所在地	〒890-8577 鹿児島市鴨池新町〇番×号	
計画作成者 住所 氏名 連絡先	〒890-8577 鹿児島市鴨池新町〇番×号 鹿児島 太郎 099-286-**** (携帯番号: 080-△△△△-××××) e-mail satoyama-satuma@〇〇.jp	応募申請書の内容が確認できる担当者 と連絡先を記載すること。
設立年月日	平成23年4月1日	内容確認や各種情報提供のため、メールアドレスはできるだけ記載すること。
団体の構成員数	50人	
設立目的	森林を守り育てる世代の子どもたちが、森林の働きについて学ぶ場として荒廃した里山を整備し、森林環境への意識を高め、持続的な森林づくりへの参加を促す。	
活動実績	※活動実績には、団体としてのこれまでの森林体験活動（自力・補助）を記載するものとし、取組の成果や森林体験活動に対する考え方についても可能な限り、併せて記載すること。 なお、設立以降の活動内容や年間活動などの実績が分かる既存資料（総会資料やHP）があれば、換えることができる。	
本事業の実施回数 (実施年度)	3回（平成24, 25, 26年度）	本事業の補助を受けて実施した年度を記載すること。
今回工夫や改善 を行った点	幼少期から森林に親しんでもらうことを目的に、近隣の幼稚園、保育園の園児や小学校の低学年を対象とした里山散策と生き物観察を計画	※過去に本事業を実施した団体は、必ず記載すること。
他団体等との連携	※当事業の実施において、協力又は協賛等する団体・企業等を記載すること。 〔〇〇学校（実施協力）、〇〇会社（協賛）など〕	
今後の展開	継続した取組	身近な里山保全活動を地域住民と一体となって継続していくとともに、次代を担う子ども達へ森林の大切さを学習・体験活動を通して伝える活動を続ける。
	新たな取組	〇〇川下流や海岸沿いの地域住民との交流を図り、一体となった活動を行うとともに、都市部からの参加者を募り、森林・林業に親しんでもらい、森林の役割の重要性を理解してもらう取組を展開していく。
添付書類	会則・会員名簿	※団体の概要が分かる資料を添付すること。

【事業実施の流れ】



※選定結果通知は、応募件数が多い場合、予定より遅れる場合があります。

【お問い合わせ】

○鹿児島県環境林務部 森づくり推進課

電話：099-286-3385

FAX：099-286-5611

メール：ryokuka@pref.kagoshima.lg.jp

○各地域振興局・支庁農林水産部 林務水産課



森林環境税シンボルマーク

【応募申請書等のダウンロード】

県のホームページから、「森林の体験」で検索し、「森林の体験活動支援事業（公募事業）について」のサイトから、応募申請書等の様式をダウンロードすることができます。